

V13b

## CANGAROO7/10m 望遠鏡の観測報告

櫛田 淳子 (東工大理)、他 CANGAROO チーム (茨城大理、茨城医療大、宇宙科学研、大阪市大理、神奈川大工、京大理、甲南大理、国立天文台、東海大理、東工大理、東大宇宙線研、名大STE研、山形大理、山梨学院大、理研、アデレード大、オーストラリア国立大)

我々CANGAROO チームはオーストラリアにチェレンコフ望遠鏡を設置し、超高エネルギーガンマ線天体の観測を行っている。現在までに口径 3.8m の望遠鏡でパルサー星雲 (かに星雲、PSR1706-44、ほ座パルサー) や超新星残骸 (SN1006、RXJ1713.7-3946) からの TeV 領域ガンマ線検出に成功し、超高エネルギーガンマ線領域での観測の重要性を示唆してきた。

これら成果を踏まえ、感度向上と検出可能エネルギーしきい値の数 100GeV 領域への引き下げを目的として、昨年 3 月に口径 7m の CANGAROO-II 望遠鏡を建設した。さらに今年 2 月には 7m 望遠鏡を口径 10m に拡張し、現在順調に観測を行っている。

本ポスターではこの CANGAROO-II 7m/10m 望遠鏡による観測および解析の現状を報告する。